

■背景と目的

「センター」とは人々が集まり、様々な活動を行う場所である。多くの都市デザインの理論家はコミュニティには経済効率や地域の繋がりのためにも「センター」が必要であると唱えている。コミュニティデザインにおいて著名なヘスターは、「良いセンターのためのルール」として利用者の活動を中心とした中心性評価の指標を示している。

本研究は、福岡県の都心部に位置する警固公園と天神中央公園を対象に利用実態調査を行い、それらの結果を基に上記指標によって両公園を評価することを目的とする。

■「良いセンターのためのルール」と公園評価の方法

I. 高密度で異なる利用方法が集中している

多様な活動は異なる年齢、性別、グループを惹きつけ、それらの活動は互いに影響し合い、より多くの利用者をそれぞれの活動に引き入れることを示唆している。
【評価方法: アンケート調査結果(利用方法)】、プロット図(利用方法)】

II. そのエリアの誰からもアクセス可能

社会的弱者である子供や高齢者は、徒歩や自転車、公共交通機関を利用して公園を訪れるため、センターは、自家用車以外のアクセス方法を有していなければならない。
【評価方法: アンケート調査結果(交通手段・利用者属性)】

III. 頻繁の、そして昼夜に渡る利用を促す

後半は空間の有効利用と、両立しがたい活動の時間的配分を可能にすることを示唆しており、利用者が1日の異なる時間帯に異なる活動を行うことで、様々なグループが1つの空間を利用することが可能となることを示唆している。
【評価方法(前半): アンケート調査結果(利用頻度)】
【評価方法(後半): アンケート調査結果(利用方法)】、プロット図(利用方法)】

IV. 公式非公式な地域交流の場所、公的私的な催事の場所を提供し、共有された活動に焦点を当てている

公共空間は共に活動することを促進し、多目的で柔軟性のある屋外利用の場を創出し、人々にその利用目的を思い起こさせるものでなければならぬことを示唆している。
【評価方法: プロット図(利用方法)・アンケート調査結果(公園内イベントの認知度)】

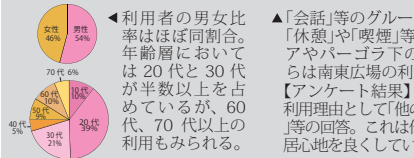
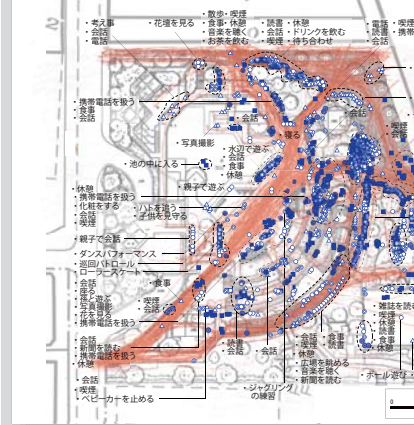
V. 構造の中に自然的な文脈を反映する

センターの位置とデザインを誘発し、自然のランドスケープは人工的な環境を際立たせるために用いられる。
【評価方法: アンケート調査結果(利用者意識)】



I. 高密度で異なる利用方法が集中している

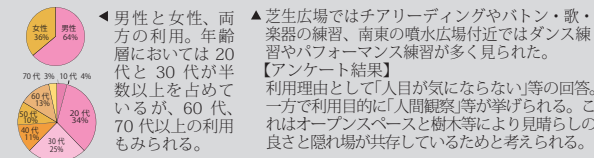
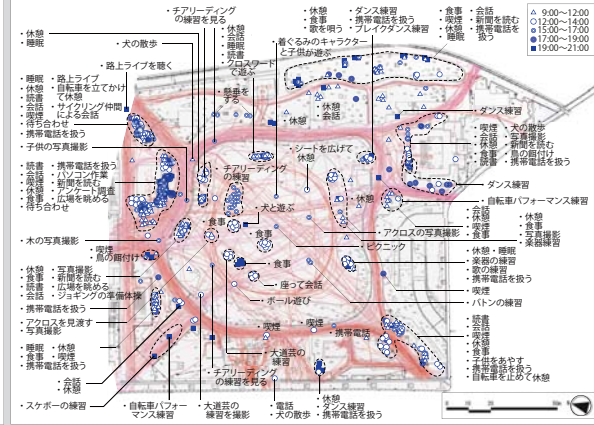
□ Kego Park - 警固公園 -



利用者の男女比率はほぼ同割合。年齢層においては20代と30代が半数以上を占めているが、60代、70代以上の利用もみられる。

「会話」等のグループ行動が散見。「休憩」や「喫煙」等の行動は特に階段エリアやパーク下のベンチに多い。動線からは南東広場の利用がほぼ見られない。
【アンケート結果】
利用理由として「他の人も食事をしているから」等の回答。これは他の利用者の行動が自らの居心地を良くしているためだと考えられる。

□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -

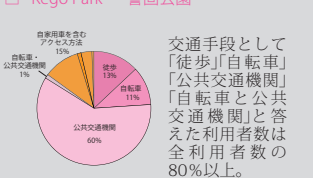


男性と女性、両方の利用。年齢層においては20代と30代が半数以上を占めているが、60代、70代以上の利用もみられる。

芝生広場ではチアリーディングやバトン・歌・楽器の練習、南東の噴水が広く見られるダンス練習やパフォーマンス練習が多かった。
【アンケート結果】
利用理由として「人が気にならない」等の回答。一方で利用目的に「人間観察」等が挙げられる。これはオープンスペースと植木等により見晴らしの良さや隠れ場が共存しているためと考えられる。

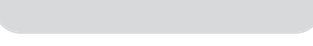
II. そのエリアの誰からもアクセス可能

□ Kego Park - 警固公園 -



交通手段として「徒歩」「自転車」「公共交通機関」「自転車と公共交通機関」に答えた利用者数は全利用者数の80%以上。

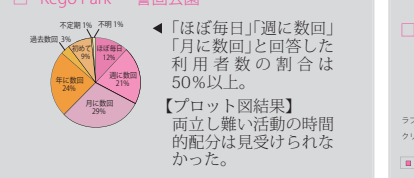
□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -



ルールIで詳述したように、両公園とも幅広い年代に利用されている結果が看取。自家用車以外によるアクセス方法が有し、社会的弱者の来園を促して

III. 頻繁の、そして昼夜に渡る利用を促す

□ Kego Park - 警固公園 -



「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」と回答した利用者数の割合は50%以上。
【プロット図結果】
両立し難い活動の時間的配分は見受けられなかった。

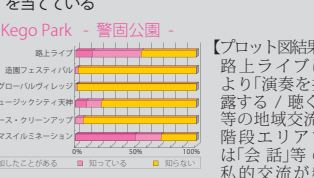
□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -



「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」と回答した利用者数の割合は50%以上。
【プロット図結果】
楽器や歌、路上ライブ等、音の発生を伴う利用が見られる場合、「読書」や「電話をかける」といった静穏な空間を必要とする利用は少なく、音の発生を伴う利用があまり見られない場合に静穏な空間を必要とする利用方法が多く見られる傾向。

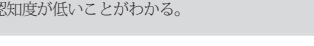
IV. 公式非公式な地域交流の場所、公的私的な催事の場所を提供し、共有された活動に焦点を注目を当てている

□ Kego Park - 警固公園 -



多くのイベント・催事において認知度が低いことがわかる。

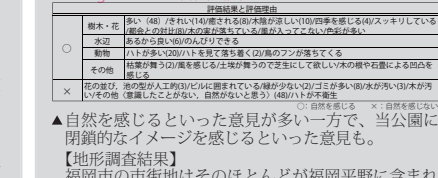
□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -



全てのイベント・催事において認知度が低いことがわかる。

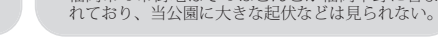
V. 構造の中に自然的な文脈を反映する

□ Kego Park - 警固公園 -



自然を感じるといった意見が一方で、当公園に閉鎖的なイメージを感じるといった意見も。
【地形調査結果】
福岡市の市街地はそのほとんどが福岡平野に含まれており、当公園に大きな起伏などは見られない。

□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -

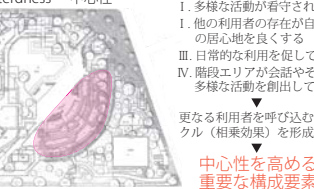


付近を流れる薬院新川を園内で感じる自然的要素として挙げた回答者は122人中1人。
【地形調査結果】
福岡市の市街地はそのほとんどが福岡平野に含まれており、当公園に大きな起伏などは見られない。

Kego Park - 警固公園 -	Tenjincho Park - 天神中央公園 -
I. 高密度で異なる利用方法が集中している ・幅広い年齢、性別、グループを引き込む ・公園全体では多様な行動が守守される ・中央広場では多様な行動が共存していく ・中央広場はオープンスペースと通路の役割を担っているが、スペースが十分でない ・中央広場は滞留が少ない ・南東広場の使用が少ない ・影響し合う行動: 路上ライブ ・同じ目的を持った他の利用者の行動や人の多さ ・そのものが自らの居心地を良くしている	I. 高密度で異なる利用方法が集中している ・幅広い年齢、性別、グループを引き込む ・自立したくない人々や人間観察をする人の共存 ・(見晴らしの良さや隠れ場の共存) ・多様な行動が看取される ・観光地としての役割を担う ・芝生広場: チアリーディングの練習、楽器の練習、歌の練習 ・北東出入口: サイクリンググループの利用 ・噴水付近: ダンス練習、自転車練習のパフォーマンス練習 ・植木空間の動線が少ない
II. そのエリアの誰からもアクセス可能 ・利用者の大多数が自家用車を使用せず公園にアクセスしている ・社会的弱者も来園しやすいアクセス環境にある	II. そのエリアの誰からもアクセス可能 ・利用者の大多数が自家用車を使用せず公園にアクセスしている ・社会的弱者も来園しやすいアクセス環境にある
III. 頻繁の、そして昼夜に渡る利用を促す ・頻繁の利用を促している ・時間帯別の公園の使い分けは見られなかった	III. 頻繁の、そして昼夜に渡る利用を促す ・頻繁の利用を促している ・音の発生を伴う行動と、静かな環境を必要とする行動の時間的配分が見られた
IV. 公式非公式な交流の場所を提供し、焦点を当てている ・路上ライブ: 非公式な地域交流、私的催事 ・ソリアターミナル沿い: 路上ライブ(中央広場では見られない) ・階段エリアの段差を腰掛け、会話を行う ・路上ライブとイルミネーションを除き、公式イベントの認知度が低い ・待ち合わせ場所として強く認識されている	IV. 公式非公式な交流の場所を提供し、焦点を当てている ・路上ライブ: 非公式な地域交流、私的催事 ・犬の飼い主達の会話: 非公式な地域交流 ・人の少なさと静けさを求めた利用でも見守された ・犬の散歩: 芝生広場 ・北東出入口: 路上ライブ ・芝生広場: ピクニック ・公式イベントの認知度が全体的に低い
V. 構造の中に自然的な文脈を反映する ・地形に起伏は見られない ・都会との対比から自然を強く感じている ・ゴミの多さが自然的要素を損ねている ・ビルに囲まれ、閉鎖的なイメージを与える	V. 構造の中に自然的な文脈を反映する ・地形に起伏は見られない ・芝生広場の存在が開放感を与えている ・アクロスと公園の調和に自然を感じる ・河川に対する意識が希薄である

□ Kego Park - 警固公園 -

Centerdness - 中心性 -



1. 多様な活動が守守される
2. 他の利用者の存在が自らの居心地を良くする
3. 日常的な利用を促している
4. 階段エリアが会話やその他多様な活動を創出している
更なる利用者呼び込むサイクル(相乗効果)を形成

中心性を高める重要な構成要素

Challenge of the place - 空間的課題 -

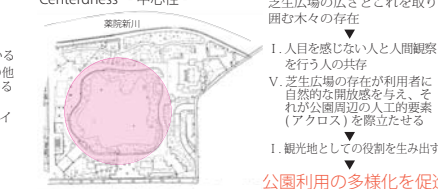


1. 南東広場の利用が少ない
2. 階段構造が中央広場のステータスを高める要素となっている
パーク下と地下駐車場出入口が利用者の視界を遮断
南東広場の利用者意識の高希薄化

利用者意識の両立化

□ Tenjincho Park - 天神中央公園 -

Centerdness - 中心性 -



芝生広場の広さとこれを取り囲む水々の存在
1. 人目を感じない人と人間観察を許す人の共存
2. 芝生広場の存在が利用者に自然的な開放感を与え、それが公園周辺の人工的要素(アクロス)を際立たせる
3. 観光地としての役割を生み出す
公園利用の多様化を促進

自然的な文脈との繋がりを考慮した公園整備

Challenge of the place - 空間的課題 -



1. 公園東側の植木空間の動線が少ない
2. 河川に対する意識が希薄

芝生広場の存在が利用者に自然的な開放感を与えそれが公園周辺の人工的要素(アクロス)を際立たせる

- ヘスターの中心性評価は、これまでの立地や交通結節点などの物理的中心的捉え方を越え、人々の利用や繋がりとといったコミュニティ形成の核として空間を捉え直す機会を提供する。
- 本研究より、人々の利用を論点として欠かさない中心的空間の課題を抽出することが示され、その有益性が示唆されたものとして。